特定非営利法人 神奈川脊椎研究協会

KSRS Webセミナー

Kanagawa Spine Research Society Web seminar

日時 2023年1月20日(金) 18:30～19:30

会場 ZOOMによるWebセミナーです

登録用URL https://kyocera.zoom.us/webinar/register/WN_FHokGTmgQ3Kr7i-DY8ercw

参加費 無　料

座長① 北里大学医学部　整形外科学　診療教授 井上　玄 先生



テーマ

当院における びまん性特発性骨増殖症を伴う 脊椎疾患に対するインストゥル メンテーション手術時の工夫



演者 川崎市立川崎病院　整形外科　副医長 伊藤 修平 先生

座長② 東海大学医学部　整形外科学　准教授 酒井 大輔 先生



テーマ

転移性脊椎腫瘍診療に 脊椎外科医だからできること



演者 聖マリアンナ医科大学　横浜市西部病院　整形外科　助教
飯沼 雅央 先生

京セラ株式会社 メディカル事業部
〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
https://www.kyocera.co.jp/prdct/medical/

©2022 KYOCERA Corporation

当院におけるびまん性特発性骨増殖症を伴う脊椎疾患に対するインストゥルメンテーション手術時の工夫

川崎市立川崎病院 整形外科
副医長
伊藤 修平

びまん性特発性骨増殖症（DISH）を伴う椎体骨折は長いレバーアームにより骨折部へ応力が集中し、インストゥルメンテーション手術後のインプラントトラブルが生じやすいことが知られています。そこで近年 DISH を伴う椎体骨折に対する手術手技として椎体終板を貫くスクリュー刺入法である Double endplates penetrating screw (DEPS) 法が広く用いられるようになりました。DEPS 法は強固な固定を可能とするため固定範囲を短縮し、より低侵襲な手術を行うことができます。当院では DISH を伴う椎体骨折以外の脊椎疾患に対しても DEPS 法を応用しているので、その使用方法について紹介させていただきます。

転移性脊椎腫瘍診療に脊椎外科医だからできること

聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
整形外科 助教
飯沼 雅央

がんの罹患者数の増加、生命予後の延長に伴い、骨転移を有する患者数は増加しています。転移性骨腫瘍の最大の好発部位は脊椎であり、脊椎外科医として、脊椎転移に関わる機会は以前より増えています。脊椎転移の治療に必要なことは、積極的に治療に介入し、他科との連携をとること、そして、手術適応をしっかりと見極めることであると考えています。本講演では演者が取り組んできた脊椎転移の予後予測法や他科との連携についてご紹介し、脊椎転移診療に脊椎外科医が関わる意義を検討したいと思います。

視聴方法

❶下記URLまたはQRコードから事前登録を
完了いただくと視聴用URLが届きます。

❷当日は視聴用URLよりアクセスをお願いいたします。

登録用URL https://kyocera.zoom.us/webinar/register/WN_FHokGTmgQ3Kr7i-DY8ercw